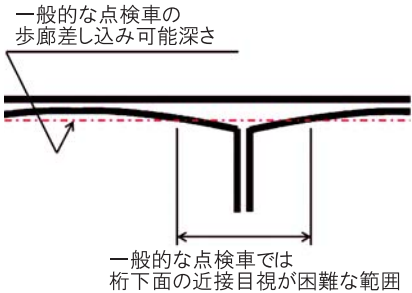


変断面 コンクリ 箱桁下面を自動撮影

ひび割れ検出など実用化

大日本ダイヤと
FLIGHTS

大日本ダイヤコンサルタン
トとFLIGHTS（東京都
渋谷区、峠下周平代表取締役）
は、ドローン橋梁点検ソフト
ウェア群「FLIGHTS
CONTROL（フライトコ
ントロール）」の新機能とし



近接目視が困難な範囲を
自動飛行撮影できる

て、変断面コンクリート箱桁
下面の自動飛行撮影を実用化
した。2024年度中に実現
場で同機能を活用した点検サ
ービスを提供する。

フライトコントロールはこ
れまで、精度管理の確実性を
重視し、コンクリート製の壁
状構造物に適用を限定して開
発や機能拡充を進めてきた。
通常の橋梁点検車では近接目
視が難しい同箱桁下面の自動
飛行点検は二重が高いもの
の、橋梁桁下ではGNSS
（衛星測位システム）の利用

が難しく、確実な精度管理と
自動飛行撮影を実現すること
は技術的に困難だった。
実用化した自動飛行撮影機
能は、国土交通省の「橋梁・
トンネル点検支援技術性能力

タログ」に掲載されている画
像計測性能を満たすため、カ
タログとは別に技術概要など
を掲載した「技術マニュアル」
の精度管理項目に対応してい
る。

撮影後のオルソモザイク画
像は壁状構造物と同様のプロ
セスで作成する。「性能カタ
ログ」に記載される撮影仕様
を適用した場合には、最小ひ
び割れ幅0.05mm、幅計測精
度（RMS）0.1mm未満の
オルソモザイク画像を作成で
きる。

従来、桁下面に近接するた
めに必要だった大型点検車や
ロープ高所作業の代替として
フライトコントロールの適用
が可能となり、点検コストの
削減につながる。

